

英語科学習指導案

平成28年10月 日（曜日）第 校時2年 組教室 指導者 林 秀多

1 単元名 Program 6 A work Experience Program (Sunshine English Course 2)

2 考察

(1) 教材観

本単元では、新出言語材料として不定詞（名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法）の学習を行う。不定詞については、英語学習の基本として重要な頻出の言語材料であるので、コミュニケーション活動などで十分に活用させ、繰り返し学習しながらしっかりと定着させていきたい。

場面設定は、中学生の武史、由紀が職場体験学習を行い、この体験学習を通して学んだことを伝え合う場面設定である。中学生にとって職場体験学習は、自分の職業観、現在の視点からの適性や、将来的に役立つ「働くこと」について多くのことを学ぶことができる好適な学習題材である。よってこの話題は生徒達にとってのある興味の事柄であり、学習者にとって適切な題材であると考えられる。

本単元では、英語の実践的運用能力を養うために、新学習指導要領の目標「(2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。」における、エ 書くこと「(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」を重点としたいと考えている。生徒は話題について自分なりに考えをまとめ、その目的に対して、口頭で表現をおこない、最終的に正しく書いて表現する経験を積み重ねながら、英語で自己の考えや意見などを表現できるようにしたい。

(2) 生徒の実態及び指導方針（男子28名 女子39名 計67名）

第一回の授業実践では、授業毎におよそ15分間の帯学習として、教科書を題材とした基本文を用いての会話練習と、即興性が求められる学習課題からの会話学習を行った。授業実践後のアンケートから、本研究についての考察をする。

第一回授業実践後のアンケート結果から、「基礎・基本となる定型文の習得」をする学習と、発展的な学習として位置づけられる「即興性が求められる学習課題を用いての表現活動」を行う学習の両方に対して、ほぼ100%の生徒が英語で会話する学習として「重要である」と答えている。

生徒の自己評価による「学習の達成度」を考察すると、「基礎・基本となる定型文の習得」での学習の達成度は、88%の生徒が「よくて出来ている」「大体できている」と答え、「即興性が求められる学習課題を用いての表現活動」では、「よくて出来ている」「大体できている」と答えた生徒が76%であった。「基礎・基本となる定型文の習得」と「即興性が求められる学習課題を用いての表現活動」では学習の実現度に12%ほど差が見られた。

授業実践において、生徒の活動を観察していると、会話における「つなぎ言葉」がうまくつかえない生徒が散見された。日本語であればうなずいたり、相づちを打てばよいような場面でも、英語の会話場面では自然にこれできていない。アンケートの結果と考察すると、「あいづちを打つ」、相手の言ったことをすぐに真似をして発声する「シャドウイング」などの会話を円滑に行うための「つなぎ言葉」の要素では、「会話の中で相づちを打つこと」について、91%の生徒が重要であると考えているが、実際の使用場面での達成度は49%と低い数値であった。同様に「会話の中でシャドウイングを行うこと」について92%が重要であると考えているが、実際の運用では69%ができていると答えたにとどまる。アンケート中、「『相づち』『シャドウイング』以外にも、会話に役立つ技（つなぎ言葉）があれば勉強したい。」という記述があった。このことから、英語での会話において、文や単語などの知識や理解だけではなく、対話を行う上で必要な「つなぎ言葉」の要素を指導したいと考えている。

4 単元の目標

目標 不定詞（名詞的用法、福祉的用法、形容詞的用法）表現の形、意味、用法を理解し、表現できる。

5 指導計画

評価規準	ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・話すことの活動において主体性を持ち、自分が伝えたいことがらを、相手にとってわかりやすく話したり、相手が伝えようとするのを的確に聞きとろうとコミュニケーションをしている。	
	イ. 表現の能力	1. 自分が伝えたい事柄を、相手に理解しやすい表現を用いて表現することができる。 2. つなぎ言葉を用いるなど工夫をして会話を続けることができる。	
	ウ. 理解の能力	・対話者の発話に対し、相づちをうったり、相手の伝えようとするのが理解できないときは「言い換える」「話す速さを遅くする」ことなどを伝えながら、理解することができる。	
	エ. 言語や文化についての知識、理解	・つなぎ言葉や質問の仕方など、会話をつなげていく方法を理解している。	
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	活用させたい知識など	思考力・表現力など	
1	不定詞（名詞的用法）についての文法知識	to ～(不定詞)を知り、用法を考えたり、表現したりする学習	進出言語材料である不定詞の用法を学習プリントを用いて学ぶ。(不定詞の名詞的用法)
帯学習①	・本単元で学習する学習内容を知る ・「つなぎ言葉」についての知識	/	
2	不定詞（副詞的用法）についての文法知識		
帯学習②	基礎・基本となる定型文（不定詞の名詞的用法）	定型文となるモデルダイアログを用いて、ペアで会話活動したり、書いて表現する学習	「基礎・基本となる定型文の習得」①
3	不定詞（形容詞的用法）についての文法知識についての知識の活用	to ～(不定詞)を知り、用法を考えたり、表現したりする学習	進出言語材料である不定詞の用法を学習プリントを用いて学ぶ。(不定詞の形容詞的用法)
帯学習③	基礎・基本となる定型文（不定詞の形容詞的用法）	定型文となるモデルダイアログを用いて、ペアで会話活動したり、書いて表現する学習	「基礎・基本となる定型文の習得」②
4	教科書本文の新出言語材料、語彙	教科書本文の内容理解	教科書本文を読み、単語の意味確認、本文の内容理解をする。
帯学習	基礎・基本となる定型文（不定詞の副詞的用法）	定型文となるモデルダイアログを用いて、ペアで会話活動したり、書いて表現する学習	「基礎・基本となる定型文の習得」③

④			
5	教科書本文の新出言語材料、語彙	教科書本文の内容理解	教科書本文を読み、単語の意味確認、本文の内容理解をする。
帯学習 ⑤	不定詞の知識を、即興的な会話の中で活用する学習	学習課題によって設定された場面にふさわしい英語表現	「即興性が求められる学習課題を用いての表現活動」①
6	教科書本文の新出言語材料、語彙	教科書本文の内容理解	教科書本文を読み、単語の意味確認、本文の内容理解をする。
帯学習 ⑥	不定詞の知識を、即興的な会話の中で活用する学習	学習課題によって設定された場面にふさわしい英語表現	「即興性が求められる学習課題を用いての表現活動」②
7	教科書 P60～61 の内容理解(リスニングの問題)	リスニングにおけるメモの活用	相手の話す内容を聞き取り、メモを取るなどして正確に聞き取る学習
帯学習 ⑦	不定詞の知識を、即興的な会話の中で活用する学習	学習課題によって設定された場面にふさわしい英語表現	「即興性が求められる学習課題を用いての表現活動」③
8	教科書 P62～63 の英作文(電子メールの作成)	電子メールの書き方	電子メールを書いて表現する学習
帯学習 ⑧	不定詞の知識を、即興的な会話の中で活用する学習	学習課題によって設定された場面にふさわしい英語表現	「即興性が求められる学習課題を用いての表現活動」④

6 本時の学習（本時は全8時間中の1時間目）

- (1) ねらい 小集団での言語活動を行い、不定詞（名詞的用法）を用いた表現を活用しながら英語で話したり、書いて表現する。
- (2) 準備 センテンスカード ピクチャーカード 学習プリント ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ① 英語で挨拶 ② 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
帯学習：基礎的な英語表現の学習（基礎・基本表現1 / 4）		
○学習シートを用いて、学習の見通しを知る。 ① 資料を見て、進出言語材料を知る。 ② 学習ルールについて確認をする。	15	○学習ルールについて ・相手に伝わるはっきりとした声を出して練習に取り組む。 ・アイコンタクトを意識し、書いてある文をすべて読むのではなく、最終的に見なくても言えるように意識をして練習に取り組むことをつたえる。
進出言語材料 不定詞（名詞的用法）を教師のスピーチより導入し、内容の確認をする。 1. 教師のスピーチを聞き、新出言語材料を知る。 2. 新出言語材料を用いたコミュニケーション活動を行い、活用しながら習得する。 3. 新出言語材料を用いた学習プリントに答え、内容の確認を行う。		
○進出言語材料を活用したり問いを解きながら理解する活動 1. 教師のスピーチにより進出言語材料について知る。 2. コミュニケーション活動を通して進出言語材料の活用をする。 3. 学習プリントを用いて進出言語材料を理解する。 【◎の反応】 ・学習プリントの問題を回答できない。	22	1. 情報から新出言語材料について用法を知る。 2. 新出言語材料をコミュニケーション活動の中で用法を理解する。 3. 進出言語材料を学習プリントでの学習理で理解し、用法についての確認をする。 ◇進出言語材料の用法を理解し、口頭で表現したり、学習プリントに答えることができる。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	10	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の2時間目）

- (1)ねらい 小集団での言語活動を行い、不定詞（副詞的用法）を用いた表現を活用しながら英語で話したり書いて表現する。
- (2)準備 センテンスカード ピクチャーカード 学習プリント ホワイトボード
- (3)展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ① 英語で挨拶 ② 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
帯学習：基礎的な英語表現の学習（基礎・基本表現 2 / 4）		
○学習シートを用いて、おもに口頭で英語を表現する活動 ① 学習シートの基本文(1~4)を個人で口頭練習する。 ② 学習シートの基本文を用いてペアで口頭練習を行う。 ③ 学習シートの基本文を書く学習する。	15	① 生徒にとって初発の文となるので、スムーズに学習を進めるためにモデルリーディングを行い、単語やイントネーションの確認をしっかりと行う。 ② 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相手に伝わるはっきりとした声を出して練習に取り組む。 ・アイコンタクトを意識し、書いてある文をすべて読むのではなく、最終的に見なくても言えるように意識をして練習に取り組むこと ③ 口頭練習を行った文をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。
進出言語材料 不定詞（形容詞的用法）を教師のスピーチより導入し、内容の確認をする。 1. 教師のスピーチを聞き、新出言語材料知る。 2. 新出言語材料を用いたコミュニケーション活動を行い、活用しながら習得する。 3. 新出言語材料を用いた学習プリントに答え、内容の確認を行う。		
○進出言語材料を活用したり問いを解きながら言語材料を理解する活動 1. 教師のスピーチにより進出言語材料について知る。 2. コミュニケーション活動を通して進出言語材料の活用をする。 3. 学習プリントを用いて進出言語材料を理解する。 【◎の反応】 ・学習プリントの問題を回答できない。	22	1. 情報から新出言語材料について用法を知る。 2. 新出言語材料をコミュニケーション活動の中で用法を理解する。 3. 進出言語材料を学習プリントでの学習理で理解し、用法についての確認をする。義務、命令について must と必要性の have to~について確認を行う。 ◇進出言語材料の用法を理解し、口頭で表現したり、学習プリントに答えることができる。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	10	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の3時間目）

- (1) ねらい 小集団での言語活動を行い、不定詞（形容詞的用法）を用いた表現を活用しながら英語で話したり、書いて表現する。
- (2) 準備 センテンスカード ピクチャーカード 学習プリント ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ① 英語で挨拶 ② 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
帯学習：基礎的な英語表現の学習（基礎・基本表現3／4）		
○学習シートを用いて、おもに口頭で英語を表現する活動 ① 学習シートの基本文(5~8)を個人で口頭練習する。 ② 学習シートの基本文を用いてペアで口頭練習を行う。 ③ 学習シートの基本文を書く学習する。	15	① 生徒にとって初発の文となるので、スムーズに学習を進めるためにモデルリーディングを行い、単語やイントネーションの確認をしっかりと行う。 ② 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相手に伝わるはっきりとした声を出して練習に取り組む。 ・アイコンタクトを意識し、書いてある文をすべて読むのではなく、最終的に見なくても言えるように意識をして練習に取り組むこと ③ 口頭練習を行った文をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。
進出言語材料 不定詞（副詞的用法）を教師のスピーチより導入し、内容の確認をする。 1. 教師のスピーチを聞き、新出言語材料知る。 2. 新出言語材料を用いたコミュニケーション活動を行い、活用しながら習得する。 3. 新出言語材料を用いた学習プリントに答え、内容の確認を行う。		
○進出言語材料を活用したり問いを解きながら理解する活動 1. 教師のスピーチにより進出言語材料について知る。 2. コミュニケーション活動を通して進出言語材料の活用をする。 3. 学習プリントを用いて進出言語材料を理解する。 【◎の反応】 ・学習プリントの問題を回答できない。	22	1. 情報から新出言語材料について用法を知る。 2. 新出言語材料をコミュニケーション活動の中で用法を理解する。 3. 進出言語材料を学習プリントでの学習理で理解し、用法についての確認をする。 ◇進出言語材料の用法を理解し、口頭で表現したり、学習プリントに答えることができる。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	10	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の4時間目）

- (1) ねらい 教科書本文の意味内容を確認する。
- (2) 準備 教科書 単語フラッシュカード 学習プリント ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ① 英語で挨拶 ② 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
帯学習：基礎的な英語表現の学習（基礎・基本表現4／4）		
○学習シートを用いて、おもに口頭で英語を表現する活動 ① 学習シートの基本本文(10~12)を個人で口頭練習する。 ② 学習シートの基本本文を用いてペアで口頭練習を行う。 ③ 学習シートの基本本文を書く学習する。	15	① 生徒にとって初発の文となるので、スムーズに学習を進めるためにモデルリーディングを行い、単語やイントネーションの確認をしっかりと行う。 ② 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相手に伝わるはっきりとした声を出して練習に取り組む。 ・アイコンタクトを意識し、書いてある文をすべて読むのではなく、最終的に見なくても言えるように意識をして練習に取り組むこと ③ 口頭練習を行った文をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。
教科書本文を読み、内容の確認をする。 1. 教科書本文の内容を聞き、Q and A 活動で内容理解をする。 2. 教科書本文の単語、新出言語材料の確認をする。 3. グループ学習による教科書本文の内容確認を行う。		
○教科書を読んだり、内容について話し合ったりする活動 1. 既習の学習内容をもとに、教科書の内容についてつかむ。 2. 口頭で単語の意味内容を確認する。 3. 学習グループを作り、教科書本文の内容を理解する。 【◎の反応】 ・自分から問題について英作することができない。	27	1. 範読から QA 活動を行い、内容をつかむ学習をする。 2. 進出言語材料を正しく読めるよう指導する。 3. 学習グループで協力しながらホワイトボードに教科書の訳を書く。必ず全員が活動に加わるように一人一文などルールを作り、全員が学習にかかわれるようにする。作成したホワイトボードは黒板に提示しクラスの共通理解に役立てる。 ◇進出言語材料の意味内容を理解し、教科書本文の内容を理解している。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	5	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の5時間目）

- (1) ねらい 教科書本文の意味内容を確認する。
- (2) 準備 教科書 単語フラッシュカード 学習プリント ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ① 英語で挨拶 ② 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
教科書本文を読み、内容の確認をする。 1. 教科書本文の内容を聞き、Q and A 活動で内容理解をする。 2. 教科書本文の単語、新出言語材料の確認をする。 3. グループ学習による教科書本文の内容確認を行う。		
○教科書を読んだり、内容について話し合ったりする活動 1. 既習の学習内容をもとに、教科書の内容についてつかむ。 2. 口頭で単語の意味内容を確認する。 3. 学習グループを作り、教科書本文の内容を理解する。 【◎の反応】 ・自分から問題について英作することができない。	27	1. 範読から QA 活動を行い、内容をつかむ学習をする。 2. 進出言語材料を正しく読めるよう指導する。 3. 学習グループで協力しながらホワイトボードに教科書の訳を書く。必ず全員が活動に加わるように一人一文などルールを作り、全員が学習にかかわれるようにする。作成したホワイトボードは黒板に提示しクラスの共通理解に役立てる。 ◇進出言語材料の意味内容を理解し、教科書本文の内容を理解している。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
帯学習：即興的な英語表現の学習（即興的な表現1 / 4）		
○学習シートを用いて、即興的に口頭で英語を表現する活動 ① 学習シートをみて、話題を連想する。 ② ペアによる即興的なコミュニケーション活動を行う。 ③ コミュニケーション活動で対話した事柄を書く学習を行う。 ④ 自己評価をシートに記入する。	15	① 会話のポイントとなる話題について、見通しを立てられない生徒への支援として対話のヒント（身近な話題を利用するなど）を与える。 ② 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相づちなど相手にとって話しやすいように、お互いが理解しあって対話を進めることを意識させる。 ・自分が伝えたいことがうまく英語で表現できないところは、言い換えたりして伝えるように支援を行う。 ③ 対話した内容をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。 ④ 自己評価を記入し、成果や課題の発見をさせ、次の学習への主体性を高められるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	5	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の6時間目）

- (1) ねらい 教科書本文の意味内容を確認する。
- (2) 準備 教科書 単語フラッシュカード 学習プリント ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ③ 英語で挨拶 ④ 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
教科書本文を読み、内容の確認をする。 1. 教科書本文の内容を聞き、Q and A 活動で内容理解をする。 2. 教科書本文の単語、新出言語材料の確認をする。 3. グループ学習による教科書本文の内容確認を行う。		
○教科書を読んだり、内容について話し合ったりする活動 1. 既習の学習内容をもとに、教科書の内容についてつかむ。 2. 口頭で単語の意味内容を確認する。 3. 学習グループを作り、教科書本文の内容を理解する。 【◎の反応】 ・自分から問題について英作することができない。	27	1. 範読から QA 活動を行い、内容をつかむ学習をする。 2. 進出言語材料を正しく読めるよう指導する。 3. 学習グループで協力しながらホワイトボードに教科書の訳を書く。必ず全員が活動に加わるように一人一文などルールを作り、全員が学習にかかわれるようにする。作成したホワイトボードは黒板に提示しクラスの共通理解に役立てる。 ◇進出言語材料の意味内容を理解し、教科書本文の内容を理解している。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
帯学習：即興的な英語表現の学習（即興的な表現 2 / 4）		
○学習シートを用いて、即興的に口頭で英語を表現する活動 ① 学習シートをみて、話題を連想する。 ② ペアによる即興的なコミュニケーション活動を行う。 ③ コミュニケーション活動で対話した事柄を書く学習を行う。 ④ 自己評価をシートに記入する。	15	① 会話のポイントとなる話題について、見通しを立てられない生徒への支援として対話のヒント（身近な話題を利用するなど）を与える。 ② 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相づちなど相手にとって話しやすいように、お互いが理解しあって対話を進めることを意識させる。 ・自分が伝えたいことがうまく英語で表現できないところは、言い換えたりして伝えるように支援を行う。 ③ 対話した内容をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。 ④ 自己評価を記入し、成果や課題の発見をさせ、次の学習への主体性を高められるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	5	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の7時間目）

- (1) ねらい 教科書本文の意味内容を確認する。
- (2) 準備 教科書 単語フラッシュカード 学習プリント ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ⑤ 英語で挨拶 ⑥ 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
進出言語材料(Shall ~?)を教師のスピーチより導入し、内容の確認をする。 1. 教師のスピーチを聞き、新出言語材料知る。 2. 新出言語材料を用いたコミュニケーション活動を行い、活用しながら習得する。 3. 新出言語材料を用いた学習プリントに答え、内容の確認を行う。		
○教科書を読んだり、内容について話し合ったりする活動 1. 既習の学習内容をもとに、教科書の内容についてつかむ。 2. 口頭で単語の意味内容を確認する。 3. 学習グループを作り、教科書本文の内容を理解する。 【◎の反応】 ・自分から問題について英作することができない。	27	1. 範読からQA活動を行い、内容をつかむ学習をする。 2. 進出言語材料を正しく読めるよう指導する。 3. 学習グループで協力しながらホワイトボードに教科書の訳を書く。必ず全員が活動に加わるように一人一文などルールを作り、全員が学習にかかわれるようにする。作成したホワイトボードは黒板に提示しクラスの共通理解に役立てる。 ◇進出言語材料の意味内容を理解し、教科書本文の内容を理解している。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
帯学習：即興的な英語表現の学習（即興的な表現3／4）		
○学習シートを用いて、即興的に口頭で英語を表現する活動 ① 学習シートをみて、話題を連想する。 ② ペアによる即興的なコミュニケーション活動を行う。 ③ コミュニケーション活動で対話した事柄を書く学習を行う。 ④ 自己評価をシートに記入する。	15	① 会話のポイントとなる話題について、見通しを立てられない生徒への支援として対話のヒント（身近な話題を利用するなど）を与える。 ② 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相づちなど相手にとって話しやすいように、お互いが理解しあって対話を進めることを意識させる。 ・自分が伝えたいことがうまく英語で表現できないところは、言い換えたりして伝えるように支援を行う。 ③ 対話した内容をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。 ④ 自己評価を記入し、成果や課題の発見をさせ、次の学習への主体性を高められるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	5	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の8時間目）

- (1) ねらい 教科書本文の意味内容を確認する。
- (2) 準備 教科書 単語フラッシュカード 学習プリント ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ⑦ 英語で挨拶 ⑧ 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
教科書本文を読み、内容の確認をする。 1. 教科書本文の単語、新出言語材料の確認をする。 2. 教科書本文の内容を聞き、メモを取るなどして内容の確認をする。 3. グループ学習による教科書本文の内容確認を行う。		
○教科書の内容について聞き取る活動 1. 口頭で単語の意味内容を確認する。 2. 既習の学習内容をもとに、教科書の内容についてつかむ。 3. 学習グループを作り、教科書本文の内容を理解する。 【◎の反応】 ・自分から問題について英作することができない。	27	1. 進出言語材料を正しく読めるよう指導する。 2. リスニングから内容をつかむ学習をする。 3. 学習グループで協力しながらホワイトボードに回答を書く。必ず全員が活動に加わるように一人一文などルールを作り、全員が学習にかかわれるようにする。作成したホワイトボードは黒板に提示しクラスの共通理解に役立てる。 ◇進出言語材料の意味内容を理解し、教科書本文の内容を理解している。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
帯学習：即興的な英語表現の学習（即興的な表現4／4）		
○学習シートを用いて、即興的に口頭で英語を表現する活動 ⑤ 学習シートをみて、話題を連想する。 ⑥ ペアによる即興的なコミュニケーション活動を行う。 ⑦ コミュニケーション活動で対話した事柄を書く学習を行う。 ⑧ 自己評価をシートに記入する。	15	⑤ 会話のポイントとなる話題について、見通しを立てられない生徒への支援として対話のヒント（身近な話題を利用するなど）を与える。 ⑥ 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相づちなど相手にとって話しやすいように、お互いが理解しあって対話を進めることを意識させる。 ・自分が伝えたいことがうまく英語で表現できないところは、言い換えたりして伝えるように支援を行う。 ⑦ 対話した内容をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。 ⑧ 自己評価を記入し、成果や課題の発見をさせ、次の学習への主体性を高められるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	5	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。

6 本時の学習（本時は全9時間中の9時間目）

- (1) ねらい 教科書本文の意味内容を確認する。
 (2) 準備 教科書 単語フラッシュカード 学習プリント ホワイトボード
 (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
Greeting/Warm up ⑨ 英語で挨拶 ⑩ 基本動詞の口頭練習	3	・学習意欲を喚起できるように、大きな声で挨拶をする。 ・生徒に黒板に動詞（一般動詞の原型・過去形）を板書させておき、生徒の主体性と学習の効率化を図る。
教科書本文を読み、内容の確認をする。 1. 教科書本文の単語、新出言語材料の確認をする。 2. 電子メールの書き方について教科書の本文を読み取り、学ぶ。 3. グループ学習による電子メールの作成を行う。		
○進出言語材料を活用したり問いを解きながら理解する活動 1. 教師のスピーチにより進出言語材料について知る。 2. 教科書本文を読み取り、電子メールの作成について知る。 3. 学習プリントを用いて電子メールの作成を行う。 【◎の反応】 ・学習プリントの問題を回答できない。	22	1. 教科書本文の単語について知る。 2. 教科書本文の内容をグループ学習で知る。 3. グループ学習での電子メールを作成する。 ◇進出言語材料の用法を理解し、口頭で表現したり、学習プリントに答えることができる。 【◎への支援】 ・教師が机間巡視を行い、文法的な正確性の注意点を示し、ピアサポートでの支援を行えるようにする。
帯学習：即興的な英語表現の学習（即興的な表現 まとめ）		
○学習シートを用いて、即興的に口頭で英語を表現する活動 ① 学習シートをみて、話題を連想する。 ② ペアによる即興的なコミュニケーション活動を行う。 ③ コミュニケーション活動で対話した事柄を書く学習を行う。 ④ 自己評価をシートに記入する。	15	① 会話のポイントとなる話題について、見通しを立てられない生徒への支援として対話のヒント（身近な話題を利用するなど）を与える。 ② 生徒の口頭による表現活動を対話でのコミュニケーション活動でおこなう。学習のルールが大切な場面なので、教師は生徒とコミュニケーション活動に参加し、賞賛や必要な指導などを行う。 ○学習ルールについて ・相づちなど相手にとって話しやすいように、お互いが理解しあって対話を進めることを意識させる。 ・自分が伝えたいことがうまく英語で表現できないところは、言い換えたりして伝えるように支援を行う。 ③ 対話した内容をノートに書くとき、綴りなどに誤りがないか机間巡視をして確認をする。 ④ 自己評価を記入し、成果や課題の発見をさせ、次の学習への主体性を高められるようにする。
本時のまとめと振り返りをおこなう。		
本時の学習について振り返り、まとめを行なう。	5	・学習の振り返りをスムーズにできるように、生徒同士の意見交換や教師からの意見を述べる。